

4.3 若手育成・教育推進室

教授 堀宗朗, 川勝均 (室長), 武尾実, 歌田久司
准教授 新谷昌人, 飯高隆, 亀伸樹, 宮武隆, 望月公廣, 清水久芳, 武井康子

次世代をになう大学院生・若手研究者の育成に力をそそいでいくことを目的とし, H22 年 4 月に行われた改組に伴い「若手育成・教育推進室」(以後『若手育成室』と呼ぶ)が設置された。(1) 理学系大学院地球惑星科学専攻の教務, (2) 大学院教育プログラムの企画・立案および調整, (3) 若手育成・教育に関する方針の検討, (4) 学生に対する経済支援, (5) その他, 研究所の若手育成・教育に関する重要事項, などについて地震研究所としての対応を検討・実施している。

平成 24 年は月 1 回の定例 (教授会の一週間前の木曜日) の室会議を持ちつつ活動している。所外の教育関連の委員会 (H24 年度) には, 理学系研究科教育会議 (歌田), 地惑専攻教務委員会 (新谷, 亀, 清水), 地球惑星専攻幹事会 (歌田, 川勝), 地惑専攻大学院入試実施委員 (山野 (室外)), 地惑専攻「組織的な若手研究者海外派遣プログラム」(川勝) などで対応している。

具体的な活動としては, 官庁 (気象庁, 国土地理院, 海上保安庁) による進路説明会 (2 月 21 日), 大学院進学ガイダンス (6 月 9 日) の実施, 理学部国際インターンシッププログラム UTRIP への参加 (3 名 (インド, 中国, ハンガリー) の外国人学部研修生の受け入れ), 駒場全学自由ゼミ「地球を見る-地震・火山・地球研究の新しい風」(若手教員中心) の開講, 修士中間発表及び”学生 week”開催などがある (11 月 12-16 日)。また地球惑星科学専攻大学院講義のうち「固体地球科学特論」に以下の講義を提案実施した: 「高エネルギー地球内部物理学」(特論 I, 夏学期, 講師: 田中 (宏) 准教授), 「断層摩擦構成則」(特論 III, 冬学期, 講師: 吉田教授), 「地球熱学」(特論 V, 冬学期, 講師: 山野准教授), 「確率統計地震学」(特論 VI, 夏学期, 講師: 山科准教授)。また平成 24 年度は, 大学院教育の国際化推進のため「国際インターンシップ研修生」に関する制度構築, 次年度以降の積極的なインターンシッププログラムの実施案作成, 教養学部における英語プログラム PEAK (Programs in English at Komaba) への協力として”Earth Science”の講義の担当 (栗田教授, 平田教授, 中田教授ら), などを行った。

4.4 技術部

下記の 3 室は, 全国共同利用研究所としてより有機的な研究支援体制の確立を目的として, 平成 13 年 4 月 1 日付で設置された技術職員とそれを統括する担当教員で構成された組織 (所内措置) である。

4.4.1 情報処理室

担当教員 佐竹健治 (教授, 兼任)
技術職員 井本良子, 工藤和子, 荻野スミ子

情報処理室は, 情報処理技術によって研究支援を行う技術職員 3 名で構成されている。2012 年度は教員からの要請に応じて以下の業務を実施した。

1. 火山噴火予知研究センターの研究事務支援
2. 高エネルギー素粒子地球物理学研究センターの研究事務支援
3. 災害科学系研究部門の研究事務支援
4. 地震研ホームページの維持
5. 反射法地震探査機材の管理・観測中の後方支援
6. 共同利用研究集会の支援
7. 地震研究所所蔵の空中写真・地質図幅の管理・貸出業務